

知多市立地適正化計画（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和7年12月19日（金）～8年1月23日（金）
 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファックス又は電子メール
 3 意見の提出者数 2人（5件）

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。引き続き、本計画に基づき持続可能な都市形成を推進するとともに、市民の皆様とともに魅力ある都市づくりに取り組んでまいります。

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容（全文）	市の考え
1	1	4	1 第6次知多市総合計画	<p>「理想の未来」の実現イメージの第4項目について</p> <p>「自然との調和を図りながら操業できる企業用地」とありますが、工業団地の整備により自然が大きく破壊されることになるのは事実です。</p> <p>特に日長IC（仮称）付近の産業地候補エリアは面積も大きい上に、まとまった山林になっている部分も大きいですが、これを開発して工業団地にする場合、自然との調和を図るために具体的にどのような方法を考えているのでしょうか？</p> <p>企業の緑地帯をどのように整備するかは企業が決定することではありますが、キツネが繁殖していることで有名な産業道路沿いのように、自然に近い植生のまとまった緑地帯を設けるなどの「自然との調和を図る」方針を明確に示すべきだと思います。</p> <p>また、日長IC（仮称）付近は「南知多自然公園」に指定されている場所もありますが、自然公園に該当する場所は産業地からは外されるのでしょうか？</p> <p>長浦IC付近が広範囲にわたって「南知多自然公園」に指定されているにもかかわらず、すでに大規模開発され以前とは全く違う様相になってしまい、自然保護が行われていない様子を見ると、「南知多自然公園」は有名無実化しているのでしょうか？</p>	<p>第6次総合計画では、市内に新たな雇用を創出することで、市民の就労の選択肢を増やすことや自然と調和し操業環境の良好な新しい工業用地を整備し、成長産業の企業誘致を進める方向性を示しています。</p> <p>南知多県立自然公園に指定されている「自然公園（普通地）」は特別地域と一体的に風景の保護を図ることが必要な地域であり、愛知県により届出制度の運用がされています。大規模な開発等に際しては、事業者が愛知県と調整し、保全緑地や回復緑地を整備するなど、生物多様性への配慮に取り組むこととなります。</p>
2	1	5	1 第6次知多市総合計画	<p>「歴史ある寺や神社、古くからの街並みなど地域資源の利活用」について</p> <p>居住誘導区域外の集落地にも、観光資源としても重要な文化財や伝統がある。集約化の意味するところは、集落地の切り捨てではないのでしょうか？</p> <p>歴史ある街、古い街並みとして大切なのは岡田地区だけではないと思います。私も集落地に住んでいて、地域のお祭りのお囃子を次世代に伝えていきたいと練習に励んでおりますが、祭礼などは地域に根付いたもので、別の場所へ移すことも困難だと思われます。こういったものは存続できなくて良いというのが市の方針なのでしょうか？</p> <p>知多市らしさと呼べる魅力が大きく損なわれるのではないかと危惧しています。</p>	<p>本計画は、人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されることを目指すものです。</p> <p>居住誘導区域外の集落地については、知多市都市計画マスタープランにおいて、既存の土地利用を維持し、農地や里山と一体となった良好な居住環境の保全を図るまちづくりを進めることとしており、自然環境と都市的土地利用の調和を図り、秩序ある土地利用を図る方針です。</p>

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容（全文）	市の考え
3	1	5	1 第6次知多市総合計画	<p>「農産物のブランド化」について</p> <p>既に知多市の重要なブランド農産物といえるペコロス栽培の盛んな日長地区の農地を、広範囲にわたって産業用地の候補地としているのは「農産物のブランド化」の逆ではありませんか？</p>	<p>第6次総合計画では、理想の未来をイメージしやすくするため、農業を仕事として選択する人の増加、後継者の育成に向けた具体例として示しているものです。</p> <p>総合計画で描く理想の未来を実現するためには、様々な施策が連携し、ハード・ソフトの両面での取組を実施していく必要があると考えております。</p>
4	4	94	1 居住の誘導方針	<p>集約化を行う方針は受け入れざるを得ないとしても、新市街地の造成は避けるべきではないでしょうか？既存集落地に住むものとしては、自分の住む場所が切り捨てられるうえに新しい街を作られるというのは二重に受け入れがたい心情があります。新市街地の候補地は、魅力的な農村、里山の風景の広がる場所です。これも、知多市の魅力といえるものではありませんか？</p> <p>新市街地の造成で、将来にわたりインフラの維持管理の負担も増加する。集約化の方針に反しているではありませんか？</p> <p>既にあるものを活かすように、集落地を市街地化して再開発し、発展させることはできませんか？</p> <p>「知多市らしさ」を損なわない発展を望みます。</p>	<p>本計画は、全ての人口を居住誘導区域に集約するものではなく、農村集落地での居住も否定していません。都市計画マスタープランでは、集落地の土地利用を維持し、良好な住環境の保全を図ることとしています。人口減少に対応し、コンパクトなまちづくりにより効率的なインフラ維持を目指しますが、総合計画の目標人口に対応するため、既存市街地の低未利用地活用により人口密度の向上を進めつつ、市街地縁辺部などにおいて新市街地の検討も必要であると考えています。</p>
5	8	129	1 評価指標及び目標値の設定	<p>駅周辺が機能的で利用しやすいと思う市民の割合15.3%は低いので自身もそう思っていて、商店アーケードが朝倉駅構内にあったので、それに代わる売店や食堂などをまず設置すると、活性化につながると思います。</p>	<p>駅周辺が機能的で利用しやすいと思う市民の割合を上昇させるために、乗り継ぎ利便性の向上を図り、交通結節機能の強化をしていきます。</p> <p>また、朝倉駅周辺については市民の多様なニーズに応えられる商業・交流・にぎわい拠点を目指し、整備を進めます。</p>